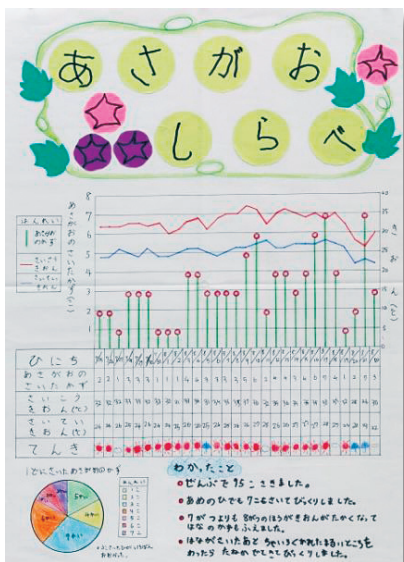


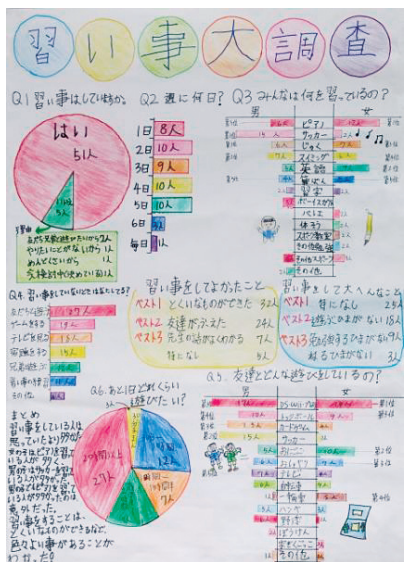
平成 23 年度京都府統計グラフコンクール入賞作品

佳作



第 1 部

亀岡市立大井小学校 1 年生
森田 真菜さん



第 2 部

京都市立音羽川小学校 4 年生
佐野 陽大さん

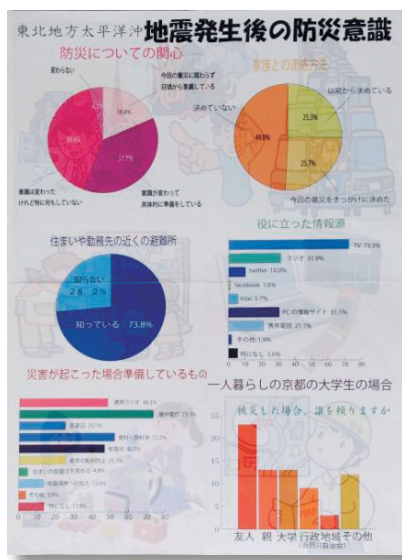


第 4 部

立命館宇治中学校 1 年生
徳田 佳奈子さん



パソコン統計グラフの部
京都市立伏見工業高等学校 2 年生
新井 健一さん



パソコン統計グラフの部
京都市立伏見工業高等学校 2 年生
月本 嵐さん

統計ってどうして必要なの？

「統計は未来をひらく道しるべ」といわれます。

これはどういう意味なのでしょう。統計がなぜ必要なのかを、一緒に考えてみることにしましょう。

◆統計は現在をうつす鏡

統計には、二つの大きな役割があります。一つ目は現在の国の状態を正確に知るための手段としての意味。この面から統計は、「現在をうつす鏡」といわれます。私たち国民一人ひとりが現在置かれている状況や、世界の中で日本が置かれている状況を正確に知るためになくしてはならないものです。

◆統計は未来をひらく道しるべ

二つ目は、これからの日本の社会・経済発展の方向を探るための手段という意味です。国や地方自治体は、現在の社会・経済・文化の実態が数字で表わされた統計を資料として役立て、日々、行政に活用しています。これらの面から統計は「未来をひらく道しるべ」といわれるのです。

◆統計は羅針盤

統計はまた、目立たないけれど必要不可欠なものであるという意味で「空気」にたとえられたり、国を船に見立てて「羅針盤」にたとえられることもあります。



－総務庁統計局・統計センター監修「統計のおはなし」から－
(現総務省統計局・独立行政法人統計センター)

「小さな協力 大きな役目 統計はあなたが主役」

統計相談は統計資料室へ TEL (075) 414-4483
インターネットでも統計データを提供中。

京都府統計ナビ

検索

アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/t-ptl/index.html>

平成 23 年度

統計でみる

府民のくらし

印刷発行 平成 24 年 3 月

編集・発行 京都府政策企画部調査統計課

京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

電話 (075) 414-4487 FAX (075) 414-4482

